
【番号・テーマ】 1. 自分と身近な人々／4. 趣味・嗜好

【単元名】 フランス語を使い東京 2020 オリンピック代表候補選手を紹介しよう

【基本情報（実施時）】

授業時間・形態：100 分（2 コマ×50 分），週 1 回 2 コマ続き

学習歴：初習 1 年目

クラスサイズ：

10 名以下 10～20 名 20～30 名 30 名以上

レベル：

A1.1 A1 A2 B1

【授業の位置付け】 第二外国語、必修

【単元の目標】

- ・東京 2020 オリンピック代表候補選手を紹介することができる。
 - ・選手の名前，年齢，国籍，出身地，スポーツを理解することができる。
-

【具体的な学習事項】

[単元に該当する指標形式の目標]

やりとり	<ul style="list-style-type: none"> 選手についての情報を理解し、伝えることができる。 選手について聞いた情報を理解できる。
------	--

【具体的な評価規準】

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<ul style="list-style-type: none"> スポーツに関する表現を用いた文の構造を理解し、適切に使える。 フランス語で書かれたプロフィール表を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループワークにおいて、スポーツ選手についての情報を伝え合うことができる。 スポーツ選手についての情報を発表できる。 他の生徒の発表を聞き取り、スポーツ選手についての情報を書きとることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> グループワークにおいて、間違いをおそれず、積極的に発話し、取り組む。 文法、綴りの間違いがないか等を積極的に探し、自己訂正を行う。 異文化に寛容になる。

[目標とする言語項目と社会文化項目]

言語項目

スポーツについての表現 : faire de l'équitation, faire de l'escrime, faire de la gymnastique artistique, faire de la lutte libre, faire de la natation, faire de la natation artistique, faire de la voile, faire du badminton, faire du judo, faire du football, faire du tennis de table, faire du tir à l'arc

他者紹介に関する表現

A : Qui est-ce ?

B : C'est Teddy RINER. (Il s'appelle Teddy RINER.)

Il a 30 ans.

Il est français.

Il est de Pointe-à-Pitre.

Il fait du judo.

想定される既習文法事項

être, avoir, faire, 数字, 年齢の表現, 国籍の形容詞, 出身の表現

社会文化項目

・オリンピックとフランス語 : 「オリンピックで使われている言語はどの言語だろうか。また、どのような順番だろうか。」

オリンピック (開会式や競技) の映像から、オリンピックの公式言語がフランス語→英語→現地の言語でアナウンスされていることに気づく。そして、フランス語の国際語としての側面を発見する。

【授業資料】

[第1次]

パワーポイント（語彙練習用フラッシュカード、他己紹介表現など）、
課題提示用資料（オリンピック代表候補選手のプロフィールカード）
ループリックシート（グループ活動評価用）

[第2次]

ワークシート（オリンピック代表候補選手の情報を空欄にしたプロフィールカード。発表を聞いて空欄補充）

振り返りシート（社会文化項目について気づいたことや発見したことを書くため）

【授業の過程】

[第1次]

- ① 使用言語に注意しながら、以前のオリンピックの開会式を見る。
- ② スポーツに関する語彙の導入と練習
- ③ オリンピック選手のプロフィール表から選手を紹介する
- ④ [グループ活動] オリンピック選手を紹介し合う

[第2次]

- ① [グループ活動] オリンピック選手を紹介し合う
- ② [グループ発表] グループでオリンピック選手をクラス全体に向けて紹介する
- ③ 振り返りとまとめ

第1次

時間	生徒の学習活動	教師の活動及び指導・支援	評価の観点・評価基準
導入 5分	<p>【社会文化項目の導入】</p> <p>以前のオリンピック（ex. 北京五輪）の開会式の映像を見せ、各国紹介のアナウンスがフランス語→英語→開催国の言語の順になっていることを聞き取る。</p>	<p>アナウンスそのものの内容よりも、アナウンスで聞こえる言語の順番を意識させる。</p>	<p>映像からどのようなことに気づいたか。</p>
展開1 10分	<p>【スポーツに関する語彙の導入】</p> <p>パワーポイントのスライドで提示されたスポーツに関する画像（アイコン）を見ながら、スポーツ名をフランス語で発音する。</p>	<p>画像（アイコン）をヒントに、スポーツ名をフランスで示す。教師が先導しながら、生徒に何度も発音させる。</p>	<p>スポーツ名を正確にフランス語で発話できているか。</p>
展開2 20分	<p>【学習活動（選手紹介）の導入】</p> <p>課題提示用資料（オリンピック選手練習用プロフィール）を提示し、本日の課題でやるべき事と、使用する表現を確認する。</p>	<p>理解はしていてもなかなか発話できない生徒が多いことが予想される。過度にストレスをかけず、ある程度は教師が先導してとにかく発話させる。</p>	<p>プロフィールシートの語彙（国籍, 年齢, 都市名, スポーツ名）から以下の表現を使って正確な文を作れているか：</p> <p>Il/Elle s'appelle ...</p> <p>Il/Elle a ... ans.</p> <p>Il/Elle est ...</p> <p>Il/Elle est de ...</p> <p>Il/Elle fait du/de la/de l' ...</p>

<p>展開 3 15分</p>	<p>【グループ活動（選手紹介）】 生徒を3名グループに分ける。 グループを奇数グループと偶数グループの大きく2つに分ける。 ▶ 奇数グループは、スポーツ選手①～⑥の6名を扱う。 ▶ 偶数グループは、スポーツ選手⑦～⑫の6名を扱う。 グループ内で、1人の生徒がスポーツ選手2名を担当し、そのスポーツ選手を紹介する。</p>	<p>配布プリントに指示を書き、理解の補助とする。ルーブリックも併せて配布し、グループ活動の評価基準を示す。</p>	<p>ルーブリックに従い、内容、語彙・文法、発音、発表の姿勢の面で目標を達成できているか。</p>
---------------------	--	--	---

第2次

時間	生徒の学習活動	教師の活動及び指導・支援	評価の観点・評価基準
<p>展開 1 10分</p>	<p>【グループ活動（選手紹介）】 クラス全体での発表に向けて、前時限のグループ活動を再度行い、準備する。：グループ内で、1人の生徒がスポーツ選手2名を担当し、そのスポーツ選手を紹介する</p>	<p>机間巡視をしながら、グループ活動の様子を観察し、必要に応じてフォローする。その際に、ルーブリックを意識させて、改善すべき点を示す。</p>	<p>ルーブリックに従い、内容、語彙・文法、発音、発表の姿勢の面で目標を達成できているか。</p>
<p>展開 2 30分</p>	<p>【クラス発表（選手紹介）】 グループごとに1名のスポーツ選手を紹介する。 ▶ 全員が発言するように、発表の際は、一人約2文（名前と年齢、国籍と出身地、競技）を発表する。 ▶ 発表の際に、内容をワークシートに書き入れる。： 奇数グループは偶数グループの選手⑦～⑫の情報をワークシートに書きとる。 偶数グループは奇数グループの選手①～⑥の情報をワークシートに書きとる。</p>	<p>グループ発表で発音を確認しつつ、理解が難しい点については、教師がフォローしながら発話させる。 時間があれば、教師が板書をしながら回答を確認する。</p>	<p>ルーブリックに従い、内容、語彙・文法、発音、発表の姿勢の面で目標を達成できているか。</p>

<p>まとめ 10分</p>	<p>【振り返りとまとめ】 もう一度以前のオリンピック（ex. 北京五輪）の開会式の映像を見る。改めて気づいたことや発見したことを振り返りシートに書き込む。</p>	<p>振り返りシートを配布する。 以前のオリンピックの映像を見せながら、オリンピックの第一公用語はフランス語であることを理解させ、東京 2020 オリンピックの際にフランス語に触れる機会が多いことや、フランス語の国際語としての一面を理解する。また、東京大会の次はパリ大会であることで、フランスとのつながりを意識させる。</p>	<p>今回の学習活動や、提示された映像を通して、気づいたことや発見したことを振り返りシートに書き込んでいるか。</p>
--------------------	---	---	---